



Flash News

三重大学

第92号

目次

●平成23年度からの新体制紹介

●新組織

- ・理事挨拶
- ・監事挨拶
- ・副学長挨拶

●退任挨拶

- ・理事退任挨拶
- ・副学長退任挨拶

平成23年度からの新体制紹介

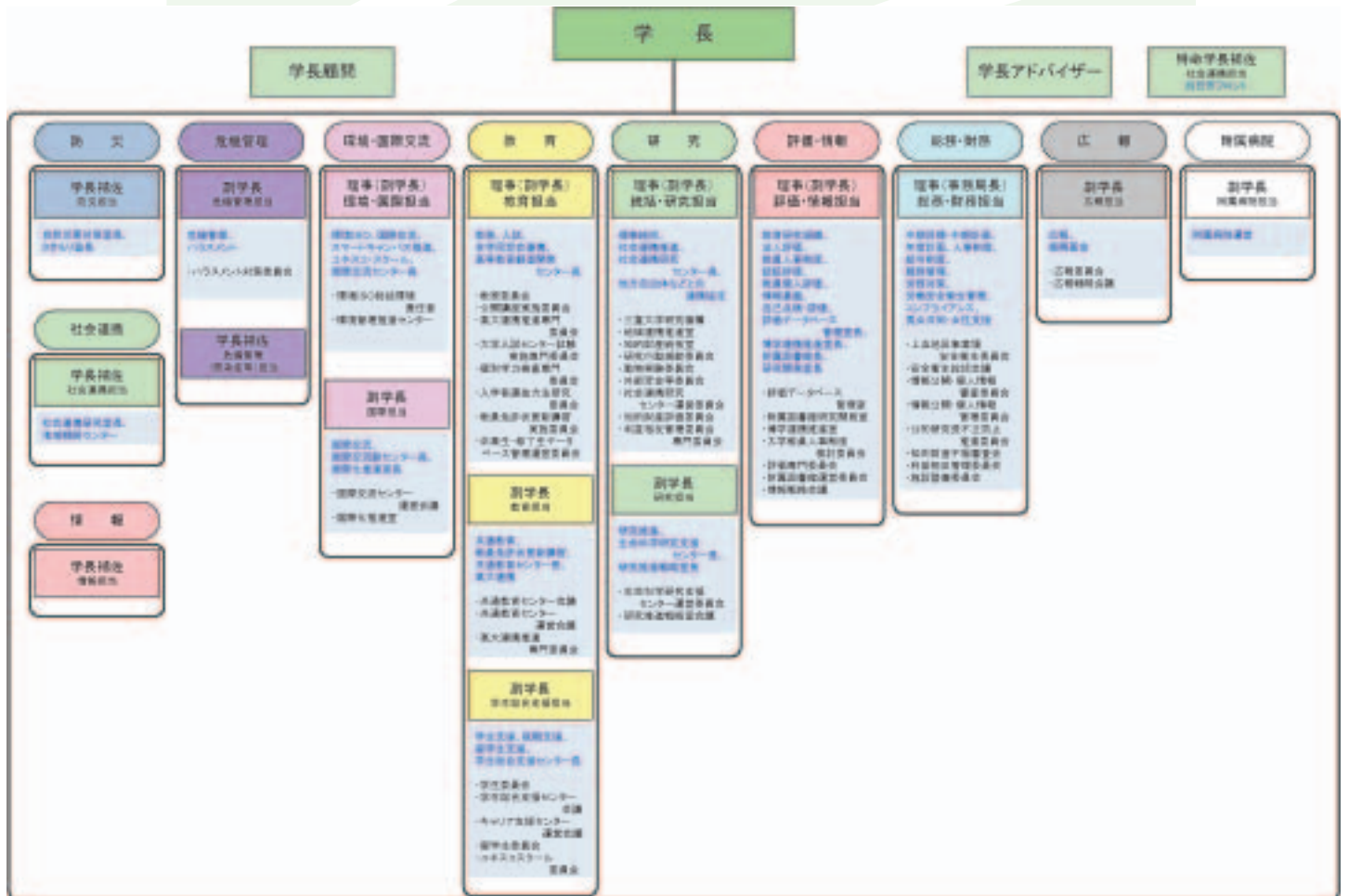


学長を囲む新体制

4月より、第2期の中期目標・中期計画を達成するために新しい執行部で臨みます。5人の理事と7人の副学長がそれぞれ役割を分担し、「優れた教育・研究を通しての地域貢献」を推進します。学問と社会との連携を一層高め、国民の理解と支持を得るために、教職員のアカウンタビリティ（説明責任）を果たしていきます。

教養教育の充実、横断的研究体制による競争力の強化、産学官連携による地域貢献、学生の修学環境の整備、教員の研究環境の改善、職員の職場環境の充実など取り組まなければならない多くの課題があります。一つ一つ着実に解決していきましょう。グローバル化が急速に進行しています。教職員学生が一体となって国際交流を進めましょう。三重大学に誇りを持って寅のように千里を走りましょう。

内田淳正



理事挨拶

統括・研究



武園 保雄

「地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す」ことが三重大学のミッションです。当然、私が主に関わる研究分野の目標でもありますが、言うは易く実をあげるのはなかなか難しいのも事実です。広く外部に目を向け社会連携でお互い果実を採りつつも、将来を見据えた基礎研究もおろそかに出来ません。この両輪を今後も有効に回す必要があります。鈴木前理事の下、三重大学の研究体制の強化が図られ、支援プログラムも充実してきました。それらをさらに実りあるものにするのが私達に課せられた役目とっております。とは言え、皆様個々の知恵と努力の結果があってこそ、本学の目標達成が可能となります。ご協力、ご支援のほど、どうかよろしくお願い申し上げます。

教育

三重大学の学生歌「瑞穂映ゆ」は、半世紀以上前に農学部の女子学生によって作られました。知性を磨くこと、自由を守ること、真理を求めることの決意が、若者らしい自負をもってうたわれています。「真理はわれらを自由にする」という言葉をも連想させるこの決意は、現今求められている3ポリシー策定などの土台をなす、大学の存在理由でもあると思われまふ。新制三重大学の創設期に学生自身によって掲げられた不易の理想に近づけるよう、2年間、努力をしたいと思ひます。



田中 晶善

評価・情報



滝 和郎

評価・情報担当の理事ならびに図書館長に就任いたしました。グローバル化が進展する中で、高等教育の質保証が重要な課題とされており、三重大学にも国際的に通用した大学であることが求められています。国際的水準で高い大学評価を得られるように、大学連携プログラムや、国の高等教育政策に連動した活動を周知・支援することが務めであると考えております。またこれらを支援するため、三重大学附属図書館は、「研究支援機能」、「学習支援機能」、「地域貢献機能」を中心に、学術情報を広く収集・提供しています。総合情報処理センターと共に学内外のICT関連事業への支援のための情報窓口として機能しており、ますます発展するように努力したいと考えています。

環境・国際

「世界一の環境先進大学」を目指す三重大学が名実共に世界一となれる、低炭素キャンパス・循環型キャンパス・自然共生型キャンパスを創るべく、主役の学生と教職員が一丸となった果敢なチャレンジに挑みます。1983年に日本に留学した時から、名字はパクと韓国語読み、名前はケイシュクと日本語読みにし、日韓の架け橋になれる努力をしてきましたが、その経験を活かし、三重大学生が地球市民としての自覚を持った国際人財となれる国際交流に最善を尽くします。



朴 惠淑

総務・財務



坂口 和

理事職として引き続き残ることになり、改めて身の引き締まる思いです。今年度は新病院の完成をはじめ、学長肝いりの環境情報科学館の完成も控え、そう遠くない将来「あの時作ってよかった」と言っていただけのように、学長やみなさんと相談しながらいいものにしたいです。また精力的に学内施設も見て赴任した当時と比べどう変わったか、附属農場で初めて教わったアテモヤはその後どうなったかなど直接肌で感じたいものです。その際はよろしく願ひします！

監事挨拶



松生 安彦

監事の任務は、本学の教育研究の特性に十分配慮しつつ、公正かつ客観的な立場から、法人業務の適正性、妥当性を日常的に監査することにより、大学の発展に寄与することです。監事監査の仕組みは本学の自律的風土の醸成を促すシステムでもあると考えています。

職責上、率直に申し上げなければならぬことであろうかと思ひますが、三重大学の発展に少しでもお役にたてればと考えておりますので、よろしく願ひいたします。

会計監査担当の非常勤監事としてこの一年間勤めさせていただきました。この間、三重大学が国立大学法人として独立的な運営で特色を出そうとしている状況を知見することができました。私は公認会計士として企業の会計監査などに携わってまいりましたので、今後も財務会計分野の充実と向上に少しでも貢献できるよう努力してまいります。皆様のご指導とご協力のほど宜しく願ひ致します。



田島 和憲



副学長挨拶



山本 俊彦

教育

専門教育との関係の明確化、教育としての質の保証、教養教育としてのディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーの確立、社会的・職業的自立に向けたキャリア教育や市民性の育成を図る教育プログラムのより一層の拡充等々大学における教養教育のあり方が問われています。難題山積ですが、教員にとっても学生にとってもやりがいと意味のある共通教育の実現に微力を尽くすつもりであります。皆様のご理解とご支援を宜しくお願い致します。

学生総合支援

このたび、学生総合支援センター担当の副学長を拝命しました。就職氷河期に対応した就業力育成を目指すキャリア教育の充実、就職支援の強化、修学支援、課外活動支援、学生相談支援体制の整備、学生が学生を支援するピアサポート体制の構築、留学生支援の強化など、多くの課題がありますが、教職員の方々および学生さんたちのご支援をいただきながら、責務を全うしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



中川 正



緒方 正人

研究

武田研究担当理事の補佐役として、微力ではありますが本学の研究推進に努めるつもりですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。前研究担当理事・副学長の鈴木先生、加納先生が敷かれた法人としての中期計画を踏まえ、その研究推進策をブラッシュアップしつつ、真に大学の名にふさわしい研究を行って責任を持って社会に発信できる環境整備に努めたいと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。

国際

朴恵淑理事とともに国際関係の事業を担当させていただくこととなりました。この25年間で本学の海外パートナーは67大学にまで増加しました。そして今、より特異的で質の高い学術交流・学生交流事業の推進が求められています。国際社会での評価に値するような、魅力的で効果的な交流プログラムを提供し、若い世代の国際性の涵養を図れるよう、関係部署と協力しながら取り組んでいきたいと考えております。ご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。



江原 宏



児玉 克哉

広報

三重大学は様々な挑戦をしています。こうした三重大学の活動を多くの人に知っていただく仕組みをつくるのが広報担当副学長の職務と考えています。三重大学の活気をより多くの人に知っていただけるよう努力いたします。法人化後、活発に展開されてきた広報活動の流れをさらに強め、学内外の声を広く聴いていく「広報・広聴活動」を推進していく所存です。構成員の皆様のご協力とご指導をお願いいたします。

危機管理

このたび危機管理担当副学長を拝命いたしました。振り返りますと、一昨年世界をパニックに陥れた「新型インフルエンザ」の一件以来、保健管理センター所長として感染症の脅威と対峙してきました。大学の危機管理は感染症のみならず、自然災害をはじめ、ハラスメントやメンタルヘルスなどの問題など山積みですが、心身を新たにし取り組んで参りたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。



住田 安弘



竹田 寛

附属病院

引き続き病院担当の副学長を拝命しました竹田です。平成24年1月に予定しています新病棟の円滑な開院に向けて、全職員の力を結集して頑張ります。

診療、研究、教育、社会貢献、いずれの分野にも秀でた力強い大学病院を構築するように努めます。職員の待遇改善を図りながら、世界に誇れる先進医療や臨床研究を推進し、地域医療機関との緊密なネットワークを拡充しながら、医学教育の充実と三重県全体の診療レベルの向上に努めます。どうぞよろしくお願い致します。



◆◆ 学長補佐 ◆◆



西村 訓弘
(社会連携担当)



奥村 晴彦
(情報担当)



畑中 重光
(防災担当)



兼児 敏浩
(危機管理(感染症等)担当)

◆ 学長顧問 ◆



珠玖 洋

◆ 特命学長補佐 ◆



加藤 征三
(社会連携担当)

◆ 学長アドバイザー ◆



西岡 久寿樹



日高 弘義

理事退任挨拶

企画・環境



後藤 正和

企画・環境担当として大変お世話になり、有り難うございました。企画部門では、各部局の先生や事務の方々のご協力のもと、第1期中期目標期間中の法人評価を無事に受けることができましたし、環境部門では、環境ISO推進室や施設部の精力的な取組の結果、飛躍的に進捗しました。着実な成果が得られたことも、積み残した課題や新たに見つかった課題も、教職員が気持ちを一つにしてこれからも取り組んで行かれることを期待しております。

教育

2年前、フラッシュニュースで「①羅針盤、②潤滑油、③触媒、④エンジン等、様々な形で本学の教育力向上に向けて力を尽くす」とお伝えしました。そしてこの4つの役割を意識して、①教育に係る中期目標・計画の策定と推進、②全学教職課程の再構築、③教育G Pの獲得、④HEDCによるPBLや初年次教育の推進などに取り組んできました。三つの方針の明確化、教育の質保証など、課題も残っていますが、教育改善がさらに進められ、三重大学の特色ある教育が発展することを願っています。



野村 由同彦

研究



鈴木 宏治

就任後の最初の仕事は、第1期中期目標・中期計画の成果とその評価結果を受けて、第2期中期目標・中期計画の立案でした。次いで、大学での自由な研究、政府や自治体の政策に沿ったプロジェクト研究、産業界のニーズに沿った共同研究や受託研究などを活発化する研究支援体制の確立に向け、全学研究推進戦略室の設置、若手研究者海外派遣支援事業、全学の研究支援体制(組織)の整備(旧BVLを新産業創成研究拠点へ、旧機器分析施設を研究展開支援拠点への改組)などを行ってまいりました。こうした取り組みをご指導、ご支援いただいた学長始め、全教職員の皆様に心より御礼申し上げます。今後の本学の研究活動、社会連携事業の一層の発展を祈念いたします。

広報・情報・国際

初年度は情報(図書館を含む)と国際、2年目はこれに広報を加えて担当させていただきました。それぞれ一点ずつ目指したところを挙げますと、使いやすさとセキュリティの両立性の向上、増えつつある図書館利用に応える環境づくり、学生・若手教職員の国際交流の促進、ウェブ上で広報の強化、でしょうか。至らなかった部分は申し訳ありませんが、次の担当の方にバトンを委ねさせていただきます。様々な方に支えられての2年間でした。ありがとうございました。



松岡 守

副学長退任挨拶

研究



加納 哲

鈴木理事と共に2年間、研究を担当させていただきました。私はその中でも主に学内の研究環境の改善に取り組んでまいりました。まず始めに第2期中期目標・中期計画の策定に多くの時間を充当致しました。この目標の中で本学の研究の進め方に大きな影響を与える研究推進戦略室を軌道に乗せ、その運営に当たりました。また、生命科学支援センターについても長年手をつけられてこなかった箇所を整理し、効率的に運営出来るよう努力致しました。2年間にわたってご協力を賜りありがとうございました。

